



さくら市

YAZAWA Book

2018



神楽（星宮神社）

さくら市イヤーブックは文星芸術大学と連携して、歴史を紹介しながら、さくら市の記憶を記録する「メモリアルフォトブック」として今回も発行しました。歴史的な跡を巡る資料としてだけでなく、写真を見て、撮影場所を探す楽しさも味わってみてください。

今回の2018年版はさくら市上阿久津・勝山、熟田地区で作成しました。2018年は記録的な猛暑や豪雨に加え台風による被害と自然災害の多い年でした。でもそんな自然の猛威にも負けず伝統あるお祭り、緑豊かな自然や田園風景は変わらない状態で今後も後世に受け継がれていって欲しいと思います。

今後も歴史や文化を学だけでなく、魅力溢れるさくら市の各地を特集したイヤーブックを制作していくたいと考えています

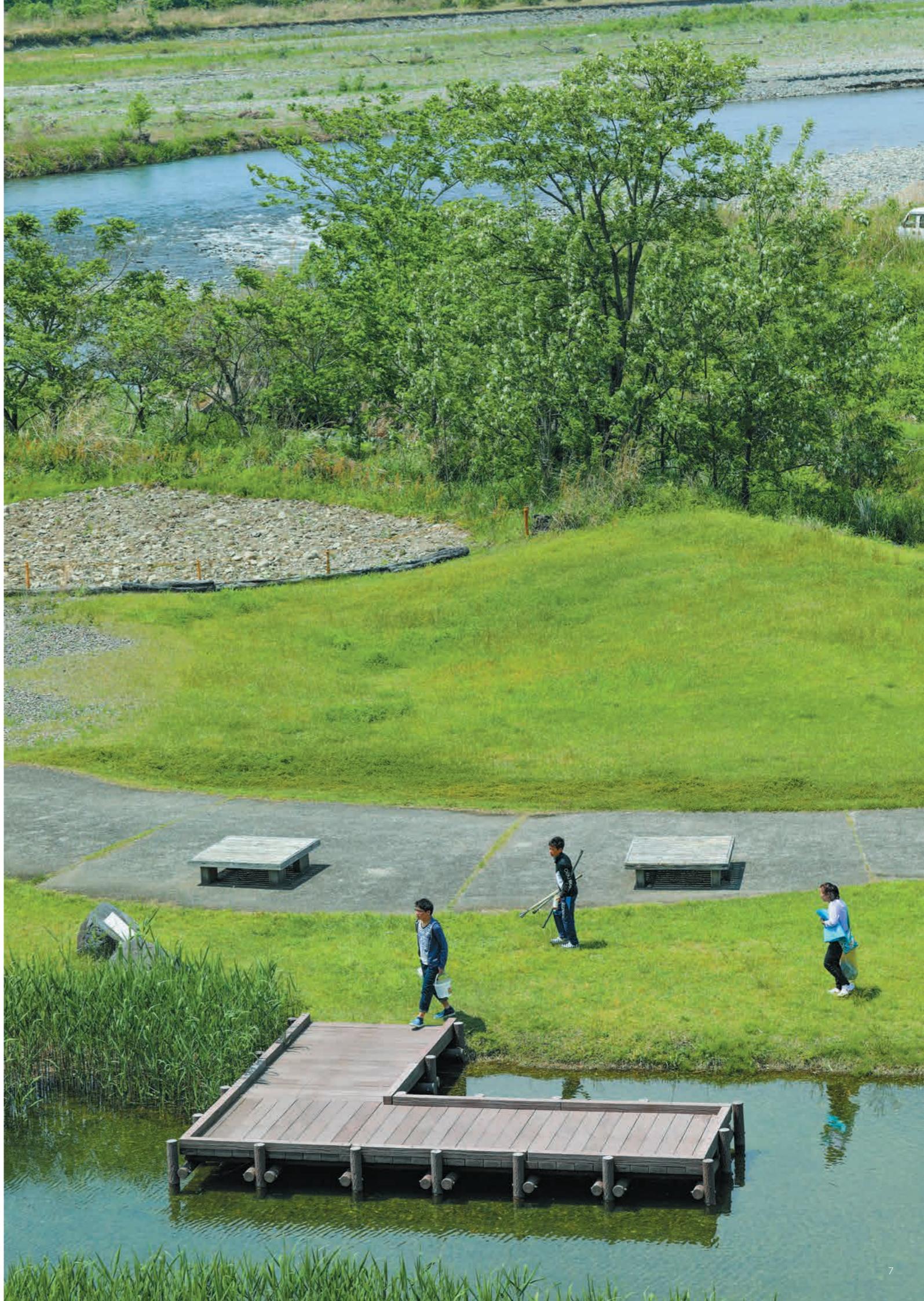


2018年の上阿久津・勝山、熟田



## 勝山公園

旧・国道4号(現:県道氏家宇都宮線)沿いにある公園で、訪れる人たちの憩いの場となっています。この勝山公園から見ることができる景色は「栃木県景勝百選の地」に指定されているように眼下に鬼怒川の清流を望み、また遠くには神の座といわれる日光連山や高原山を一望することができます。



## さくら市ミュージアム

### - 荒井寛方記念館 -

さくら市ミュージアムー荒井寛方記念館ーは1993年に「ミュージアム氏家」の館名で開館した博物館です。2005年3月に氏家町と喜連川町が合併し、さくら市となったことにより現在の館名となりました。2015年には施設の増築と常設展示室のリニューアルを実施し、より市民の方々に親しまれる博物館として生まれ変わりました。毎年10回程度開催している企画展を中心として、郷土の歴史・文化と自然をふまえたさまざまな活動を展開し、情報を発信しています。

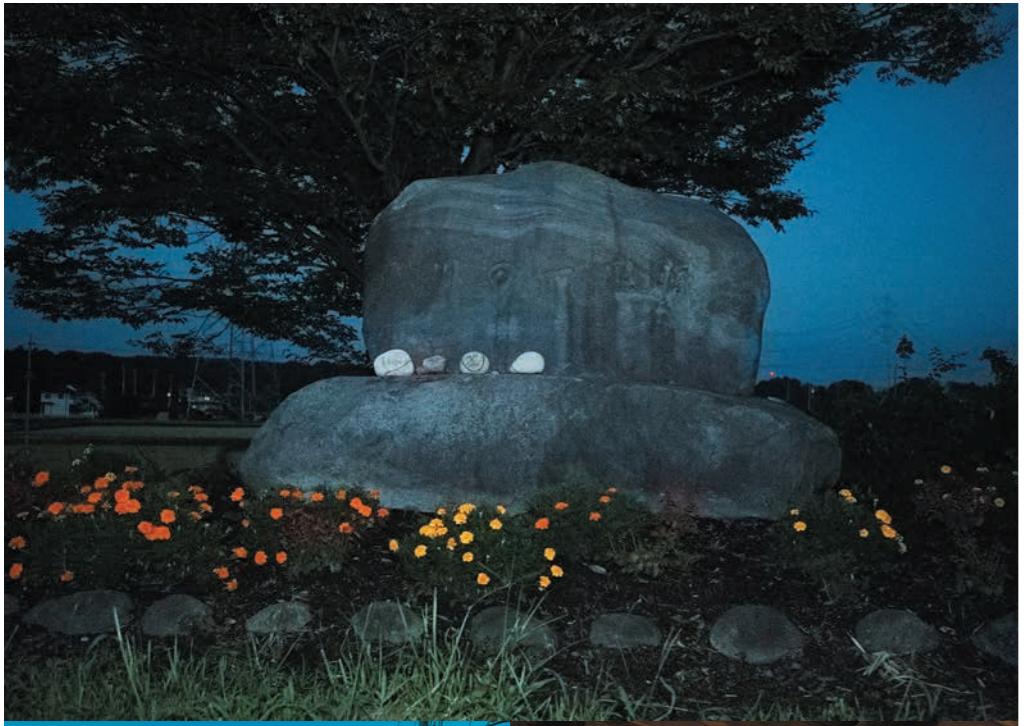


## ゆうゆうパーク

鬼怒川の河川敷を利用し、町制100周年記念としてつくられた水とふれあえる公園です。ここには300本以上のソメイヨシノが咲き乱れる桜づつみがあります。







## 川の一里塚

川の一里塚とは、堤防の裏のりの面上に盛土して、天端を広げて平場を設け、緑陰や水洗トイレ、情報案内等を設けたものを言います。平常時には、川の来訪者の憩いの場として利用され、洪水発生時等の非常時には水防資材の確保の場や水防活動拠点となるものです。市のさくらマップにも掲載されており、さくらの名所にもなっています。



## 船玉神社

本殿(市指定)は正面に龍、壁に当たる胴羽目に竜頭宝船で飾ってあり、元は舟形の境内だったといいます。阿久津河岸の水上安全と繁栄を願う神社で河岸の人々から手厚く信仰されました。

## 浮島地蔵尊

上阿久津の上流から流れてきた重い石のお地蔵さんを安置したとの伝説があります。安産や子育てに御利益があるとして女性に手厚く信仰されました。

## お伊勢の森

1908(明治41)年に建てられた天照大神の碑があるこの場所は、村境として氏家宿を発つ旅人の見送り、出迎えの場でもありました。



## 野州田植唄

市無形文化財である野州田植唄は、元々は五穀豊穗を祈る神事歌でしたが、後に単調でつらい作業を紛らわせる労働歌として変化しました。毎年、市の農業体験教室で田植唄の披露をおこない、昔ながらの田植えを再現し、田植唄の保存と継承を行っています。

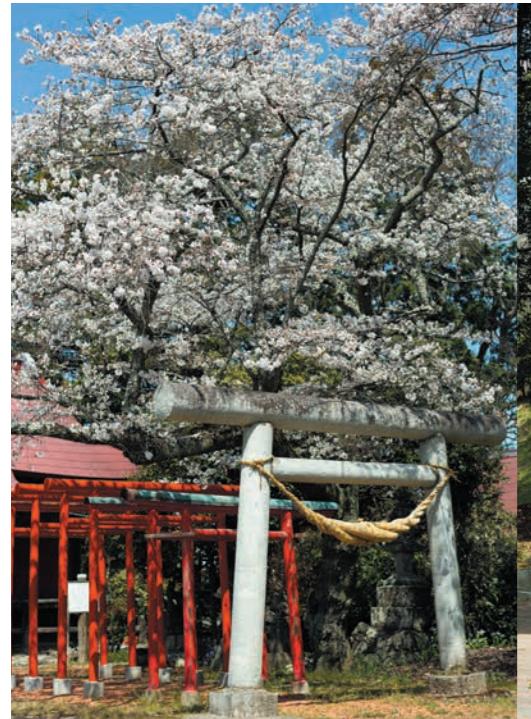




### さくらテラス（駅前情報館、駅前展示館）

市のシティープロモーション事業の拠点施設として、さくら市の魅力情報を展示および放映などの方法により発信する事業を行うために、2018(平成30年)年4月にさくらテラスが完成しました。さくらテラスには、「さくら(さくら市)」+「テラス(照らす)」、「市民と地域の未来を明るく照らす駅前交流拠点」という意味があります。展示館における最初の展示では、市指定文化財である上阿久津上町の白木地彫刻屋台が展示されました。





## 与作稻荷神社

1850(嘉永3)年三本杉の地より現在地に遷宮されました。今  
の社殿は1875(明治8)年にできたもので、その中には市指定  
文化財の「薪炭津出しの図」などの水運に関わる絵馬や「酒造  
りの工程の図」など、多数の奉納絵馬が飾られています。

## 高尾神社

小高いところに、水神・玉井護神を祀り、河岸の人々に信仰され  
ました。現在の社殿は1909(明治42)年に建てられました。バ  
イパス開通後、高尾神社のお祭りには、上阿久津上町、仲町、本  
町の白木地影刻屋台(市指定)の引き回しも不定期ながら復活  
しました。

## 星の宮神社 代々岩戸神楽 (市無形文化財)

柿木澤地区の若者によって、旧暦の九月十九日に奉納されていたもの  
です。この神楽は塩谷町の風見神楽の流れをくんだ神田流、囃子は小  
松流を承継しています。伝承された大正時代では全三十六座を舞って  
いましたが、現在は十座のみの奉納となっています。









### 堂原地蔵堂

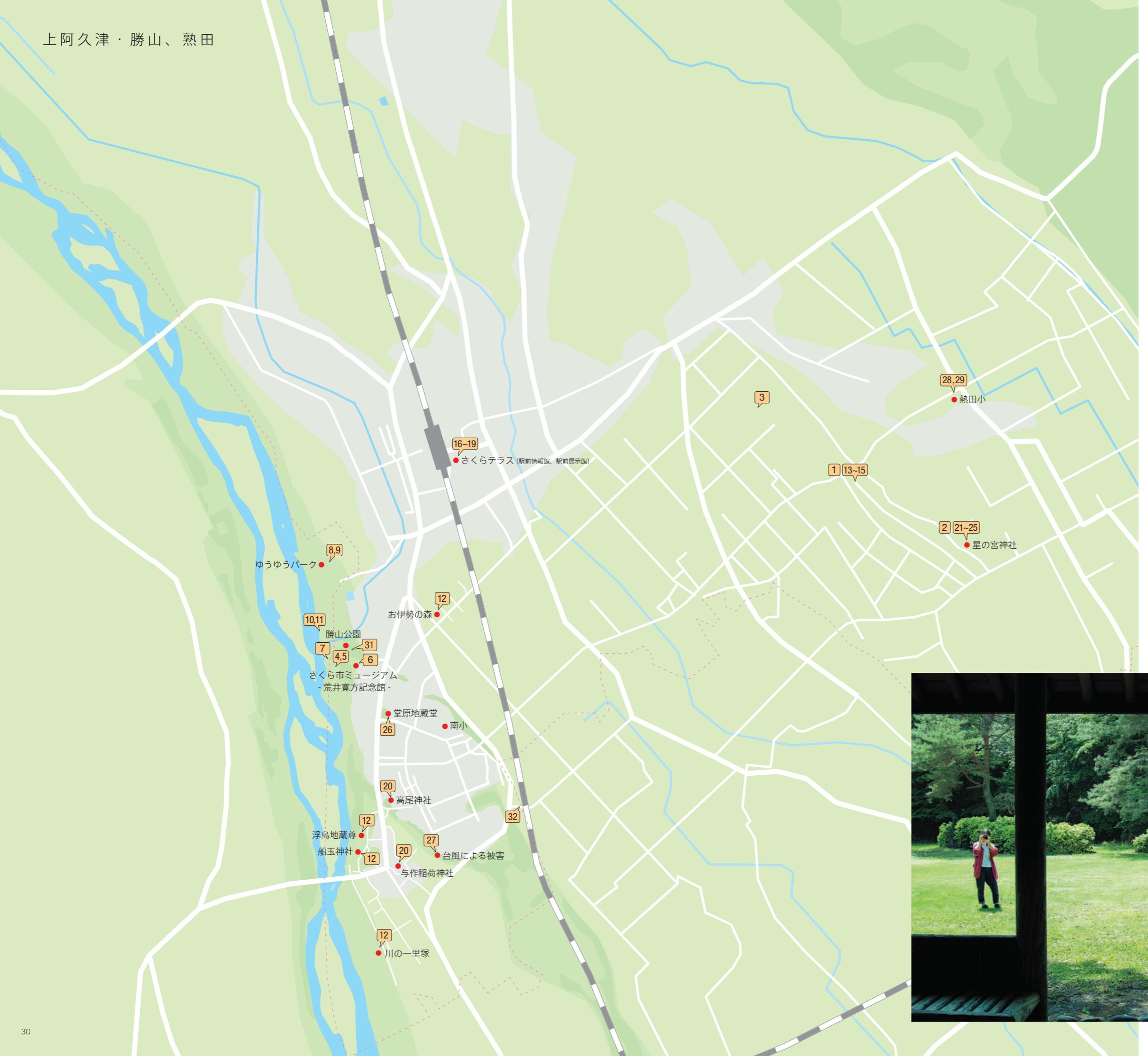
中世の寺院・満願寺跡。本尊はそうめん地蔵とも呼ばれます。敷地内には多くの石仏や常夜灯も残ります。境内が市指定の史跡だけでなく、敷地内に天然記念物のイチョウや俳諧の平石凱山の墓(市指定)もあります。



### 被災箇所

台風24号(9月30日)の影響により、上阿久津台地土地区画整理事業地区内の被災した調整池。





さくら市

さくら市  
Year Book  
2018

発行：さくら市教育委員会生涯学習課  
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川 4420-1  
TEL 028 (686) 6621 FAX 028 (686) 5368  
2019(平成31)年3月発行

制作：文星芸術大学  
安部夏希 有賀源竜 清水さつき 稲村琴美 篠崎笙太郎 板橋康仁  
江野耕治 塩澤風香 鈴木彩花 高内泰任 水本和宏

この本は官学連携や若者のアイディア、感性を生かした事業として  
さくら市と文星芸術大学が製作をおこなったものです



